

事業名：【R3補正】\_甘味資源作物生産性向上緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業・分みつ糖工場生産性向上支援事業)

所在 市町村等	事業実施主体	実施年度	目標年度	事業内容	目標1								目標2								事業計画 の妥当性	適正な事 業執行	地方農政局長等の所見
					目標	単位	目標数値						目標	単位	目標数値								
							現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			
北大東村	北大東製糖株式 会社	令和3年度	令和4年度	地力増進対策(堆肥・ 緑肥・鶏糞散布)	生産量を平年水準以 上に増加	t	27,725	29,200	23,441	-290.4%	20,387	-497.5%	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	20.3	26.5	24.4	66.1%	33.7	216.13%	○	○	地力増進に取り組むことで生産量の増加を目指し たが目標未達。一方、土壌診断の目標は達成でき ていることから再評価は行わず、引き続き目標達 成に向け取組を促す。
石垣市 竹富町	八重山地区さとう きび生産振興協議 会	令和3年度	令和4年度	肥培管理対策(化学 肥料購入助成)	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	kg/10a	5,330	5,597	3,746	-593.3%	4,820	-191.0%	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	3.5	16.2	8.4	38.6%	18.5	118.11%	○	○	肥培管理に取り組むことで単収の向上を目指した が目標未達。一方、土壌診断の目標は達成できて いることから再評価は行わず、引き続き目標達成 に向け取組を促す。
宮古島市	宮古地区さとうき び糖業振興会	令和3年度	令和4年度	地力増進対策(土壌 物理性向上にかかる 作業委託経費)	生産量を平年水準以 上に増加	t	303,506	354,091	310,447	13.7%	290,528	-25.7%	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	36.6	42.6	41.9	88.3%	51.1	241.67%	○	○	地力増進に取り組むことで生産量の増加を目指し たが、目標未達。一方、土壌診断の目標は達成で きていることから再評価は行わず、引き続き目標 達成に向け取組を促す。
国頭村	沖縄県農業協同 組合	令和3年度	令和5年度	小型ハーベスタ (110PS)1台 (収納袋30枚付属)	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	t/10a	4.216	5.319	3.922	-26.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	ハーベスタを導入することにより減少した労働時間 を肥培管理に充てることで、単収の向上を目標とし たが、目標未達。しかしながら、事業計画は妥当で あり、事業執行は適切であることから、引き続き目 標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行う ものとする。
うるま市	農事組合法人宮 島農産	令和3年度	令和5年度	小型ハーベスタ 1台 (収納袋30枚付属)	10a当たりの労働時間 10%以上削減	hr/10a	105.3	49.5	49.5	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	ハーベスタを導入することで労働時間の削減を目 指し、目標達成。
八重瀬町	合同会社大城農 機	令和3年度	令和5年度	小型ハーベスタ 1台 (収納袋30枚付属)	10a当たりの労働時間 10%以上削減	hr/10a	106.1	31.6	32.0	99.5%	-	-	生産量を5%以上増加	t	1,870	2,071	1,534	-167.2%	-	-	○	○	ハーベスタを導入することで労働時間の削減を目 指し、目標達成。生産量の増加及び単収向上の目 標については未達であるが、事業計画は妥当であり 、事業執行は適切であることから、引き続き目 標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行う ものとする。
南大東村	南大東村さとうき び生産振興対策 協議会	令和3年度	令和5年度	防除用機械導入 (自走式大型ブームス プレーヤー)1台	生産量を5%以上増加	t	22,526	27,032	18,936	-79.7%	-	-	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	t/10a	6.220	7.470	5.540	-54.4%	-	-	○	○	大型自走式防除機を導入することで生産量の増 加及び単収の向上を目指したが、どちらも目標未 達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執 行は適切であることから、引き続き目標達成に向 け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。
久米島町	農業生産法人イ ーフ農場合同会社	令和3年度	令和5年度	トラクター(100PS)1台 ロータリー 1台 全茎プランター 1台 ストローチョッパー 1 台 ブームスプレーヤー 1台	10a当たりの労働時間 10%以上削減	hr/10a	103.2	75.5	72.5	110.8%	-	-	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	t/10a	4.931	5.671	4.292	-86.4%	-	-	○	○	トラクター等を導入することで労働時間の削減を目 指し、目標達成。単収向上の目標については未達 であるが、事業計画は妥当であり、事業執行は適 切であることから、再評価は行わず、引き続き目標 達成に向け取組を促す。
伊江村	沖縄県農業協同 組合	令和3年度	令和5年度	小型ケーンハーベス ター(MCH- 30WEC(キャビン式)) (収納袋30枚付属)	10a当たりの労働時間 10%以上削減	hr/10a	114.7	56.8	56.8	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	ハーベスタを導入することで労働時間の削減を目 指し、目標達成。
国頭村 他8市町 村	北部地区さとうき び生産振興協議 会	令和4年度	令和5年度	肥培管理対策(化学 肥料購入及び薬剤購 入等)	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	t/10a	4.127	4.623	3.306	-165.5%	-	-	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	16.8	29.7	32.2	119.0%	-	-	○	○	肥培管理に取り組むことで単収の向上を目指した が目標未達。一方、土壌診断の目標は達成できて いることから再評価は行わず、引き続き目標達成 に向け取組を促す。
那覇市 他6市町 村	南部地区さとうき び生産振興対策 協議会	令和4年度	令和5年度	地力増進対策(土壌 診断、深耕・心土破碎 及び化学肥料購入な ど助成)	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	t/10a	5.644	5.927	5.288	-125.8%	-	-	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	25.4	31.5	33.4	131.8%	-	-	○	○	地力増進に取り組むことで単収の向上を目指した が目標未達。一方、土壌診断の目標は達成できて いることから再評価は行わず、引き続き目標達成 に向け取組を促す。
北大東村	北大東さとうきび 糖業振興会	令和4年度	令和5年度	病害虫防除対策(薬 剤購入助成)	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	t/10a	5.241	6.028	4.678	-71.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	病害虫防除対策に取り組むことで、単収の向上を 目指したが、目標未達。しかしながら、事業計画は 妥当であり、事業執行は適切であることから、引き 続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評 価を行うものとする。

事業名：【R3補正】\_甘味資源作物生産性向上緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業・分みつ糖工場生産性向上支援事業)

所在 市町村等	事業実施主体	実施年度	目標年度	事業内容	目標1								目標2								事業計画 の妥当性	適正な事 業執行	地方農政局長等の所見
					目標	単位	目標数値						目標	単位	目標数値								
							現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			
伊是名村	伊是名村さとうき び糖業振興会	令和4年度	令和5年度	病害虫防除対策(薬 剤購入・散布助成)	生産量を平年水準 以上に増加	t	21,071	23,179	18,126	-139.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	病害虫防除対策に取り組むことで、生産量の増加 を目指したが、目標未達。しかしながら、事業計画 は妥当であり、事業執行は適切であることから、引 き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評 価を行うものとする。	
久米島町	久米島さとうきび 振興協議会	令和4年度	令和5年度	地力増進対策(堆肥 の投入・購入、深耕助 成)、肥培管理対策 (除草剤購入助成)	生産量を平年水準 以上に増加	t	49,552	55,000	40,570	-164.9%	-	-	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	18.4	37.0	42.5	129.6%	-	-	○	○	肥培管理に取り組むことで生産量の増加を目指し たが目標未達。一方、土壌診断の目標は達成でき ていることから再評価は行わず、引き続き目標達 成に向け取組を促す。
石垣市 竹富町	八重山地区さとう きび生産振興協議 会	令和4年度	令和5年度	肥培管理対策(化学 肥料購入助成)、自然 災害による被害の軽 減(かん水作業委託 助成)	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	t/10a	4.978	5.227	4.557	-169.1%	-	-	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	12.2	37.8	58.8	182.0%	-	-	○	○	肥培管理に取り組むことで、単収の向上を目指し たが、目標未達。一方、土壌診断の目標は達成で きていることから再評価は行わず、引き続き目標 達成に向け取組を促す。
竹富町	西表糖業株式会 社	令和4年度	令和5年度	種苗確保対策(優良 品種採苗ほの設置助 成)、肥培管理対策 (除草剤購入助成)	生産量を平年水準 以上に増加	t	10,573	10,785	9,513	-500.0%	-	-	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	0.0	6.2	4.9	78.8%	-	-	○	○	
宮古島市	宮古地区さとうき び糖業振興会	令和4年度	令和5年度	地力増進対策(深耕・ 心土破砕助成)、肥培 管理対策(堆肥・土壌 改良資材助成)、病害 虫防除対策(誘導灯 導入助成)	生産量を平年水準 以上に増加	t	327,095	358,427	290,528	-116.7%	-	-	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	80.8	86.8	99.9	317.0%	-	-	○	○	地力増進、肥培管理及び病害虫防除に取り組むこ とで生産量の増加を目指したが目標未達。一方、 土壌診断の目標は達成できていることから再評価 は行わず、引き続き目標達成に向け取組を促す。
多良間村	多良間地区さとう きび生産組合	令和4年度	令和5年度	地力増進対策(有機 質資材投入・ほ場へ の運搬・散布助成)	生産量を平年水準 以上に増加	t	24,573	24,970	21,173	-856.4%	-	-	土壌診断実施面積を 6%以上増加	%	7.0	13.2	30.6	381.7%	-	-	○	○	地力増進に取り組むことで生産量の増加を目指し たが目標未達。一方、土壌診断の目標は達成でき ていることから再評価は行わず、引き続き目標達 成に向け取組を促す。
本島北 部・中部	ゆがふ製糖株式 会社	令和4年度	令和5年度	地力増進対策、有機 肥料の投入に係る助 成	新植作付面積を1% 以上増加	ha	315	335	261	-270.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	有機肥料の投入により、新植面積の増加を目指し たが目標未達。しかしながら、事業計画は妥当で あり、事業執行は適切であることから、引き続き目 標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行う ものとする。	
宮古島市	宮古地区さとうき び糖業振興会	令和4年度	令和5年度	地力増進対策、緑肥 による土づくりへの助 成	新植作付面積を1% 以上増加	ha	1,778	1,956	1,544	-131.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	緑肥による土づくりを推進することで、新植夏植面 積の増加を目指したが、目標未達。しかしながら、 事業計画は妥当であり、事業執行は適切であるこ とから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次 年度に再評価を行うものとする。	
伊是名村	沖縄県農業協同 組合	令和4年度	令和5年度	検討会の開催、先進 企業・産糖現地調査 の実施、労働効率向 上計画の作成とその 試行、人材募集の実 施、マニュアルの作成 等	1人当たり最大時間 外労働を複数月平均 80時間以下に抑制	hr/月	137	80	104	57.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	一人当たりの残業時間を抑制することを目標とし、 目標は未達であったが、一定程度の成果は出てい る。事業計画は妥当であり、事業執行は適切であ ることから、再評価は行わず、引き続き目標達成 に向け取組を促す。	
北大東村	北大東製糖株式 会社	令和4年度	令和5年度	検討会の開催、新シ フト計画作成・試行、 人材募集の実施など	1人当たり最大時間 外労働を複数月平均 80時間以下に抑制	hr/月	90	80	57	326.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	一人当たりの残業時間を抑制することを目標とし、 目標達成。	
久米島町	久米島製糖株式 会社	令和4年度	令和5年度	検討会の開催、先進 企業・産地等現地調 査、新シフト計画作 成・試行など	1人当たり最大時間 外労働を複数月平均 80時間以下に抑制	hr/月	144	80	124	31.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	一人当たりの残業時間を抑制することを目標とし たが、目標未達。しかしながら、事業計画は妥当で あり、事業執行は適切であることから、引き続き目 標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行う ものとする。	
沖縄 分蜜地域	日本分蜜糖工業 会	令和4年度	令和5年度	検討会の開催、労働 効率向上計画の作成 とその試行、人材募 集の実施など	一人当たりの残業時 間複数月平均80時間 以下を達成する工場 の割合が100%	%	0	100	11	11.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	全ての分みつ糖工場で一人当たりの残業時間を 抑制することを目標としたが、目標未達。しかしな がら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切で あることから、引き続き目標達成に向け取組を求 め、次年度に再評価を行うものとする。	